

国立市シルバー人材センターニュース

第 134 号

いぶし銀



発行：公益社団法人国立市シルバー人材センター・編集：広報委員会
住所：国立市富士見台 2-38 ・TEL：042-577-0919 ・FAX 042-575-7288
E-mail：kunitachi@sjc.ne.jp ・URL：http://www.kunitachi-sc.or.jp/



グリーンカーテン（くにたち市民芸術小ホール）

事故発生時の
夜間・休日緊急コールセンター

電話番号 04-2929-8282

- ・ 写真（グリーンカーテン） 1 頁
- ・ 10、11月の社会奉仕活動、会員の声 2 頁
- ・ 会員の声 3 頁
- ・ 入・退会者状況、会員の声募集 4 頁

10月・11月の 社会奉仕活動

第15回環境フェスタくにたち 包丁研ぎ会員募集

○日時 10月26日(土)午前10時～
○会場 谷保第四公園(芸小前)
※今年もセンターの会員さんが包丁を研ぎ、職員がセンターのPR活動をを行います。
◎包丁研ぎのできる会員の方は、ぜひ事務局へご連絡ください。

第55回クリーン多摩川

国立の集い参加者募集

大勢の会員が参加できる唯一の社会奉仕活動です。今年第55回記念事業の55ウォーキングと並行して多摩川清掃に臨みます。多くの会員の参加をお待ちしています。
○日時 11月17日(日)
午前10時～正午

○会場 多摩川河川敷グラウンド
◆参加してくださる方は、10月末日までに事務局へご連絡ください。

☎ 577-0919

社会奉仕活動の 基本的理解 その③

社会奉仕活動の沿革

— 海外の場合 —

欧州におけるボランティア活動の歴史は古く、古代ギリシャやローマ時代にもみられるが、中世になってキリスト教の隣人愛に基づき、相互扶助として行われてきたといわれている。その後のボランティア活動の先駆的な国はイギリスである。

社会民主主義や官僚制度、社会福祉、保険代理店、修学旅行等々は世界中の国がそれをまねることになったものが無数にあるが、ボランティアもその一つである。

具体的には、その後もイギリスではボランティア団体の近代化が進み、その活動は150年代から急速に進展していく。18世紀になってから新興プロテスタントによって始まった博愛事業の流れを汲むものであり、キリスト教のチャリティー(愛)の思想に基づくものといわれている。そして、現在では

これまでの伝統を受け継ぎ、さまざまなボランティア団体が市民の寄付を主な財源として活動している。頻りに市民に寄付金を集めるので、頻りに市民に寄付金を集める。こうして人々のためにさまざまなボランティア活動をしているのがイギリスという国である。

チャリティー団体のために募金活動している人々は、当然ながらボランティアとしてその作業を担当して、そのチャリティー団体は登録されている団体だけでも大小合わせて17万あるといわれている。

奉仕活動が世界的な発展につながるのには20世紀になってからである。

富士見台2班 山台 弘之



会員の声

襦袢張り講習会を終えて (そして見習いから実践へ)

谷保2班 戸田 弘

ことし2月に5日間、襦袢(ふすま)張り講習会を受講しました。場所は富士見台一丁目にあるシルバー人材センター作業所。講師は襦袢班責任者のOさんを筆頭にKさんとEさんと、受講生3名でした。

受講の動機は技術を習得して将来仕事としてやってみたいし、自宅のものは張替えできるようにになりたい。決して器用ではないが、汚れたものをきれいにするのは私の性に合っているようです。

講習会初日は道具の説明後、作業所にある講習会用の襦袢を使用して説明と作業が始まりました。3日目には福祉会館の襦袢や障子もやらせていただきました。襦袢は立てかけて張り、障子は作業台の上に寝かせて張るのは驚きでした。古い紙を剥がす、掃除する、新しい紙を張り付ける、余分な紙を切り取る……。道具を使いながらすべて手作業です。糊の濃さは紙の種類に

よって変えます。障子の骨が折れていたら木工用ボンドで接着する等、見えないところの補修サービスもあります。

5日目は練習用の網戸を使用し、網の張替えをしました。

講習会の5日間だけでは襖、障子張りの入口に、ほんの一步踏み込んだくらいかもしれませんが、慣れない作業ばかりで緊張したせいもあり、全身疲労の毎日でした。

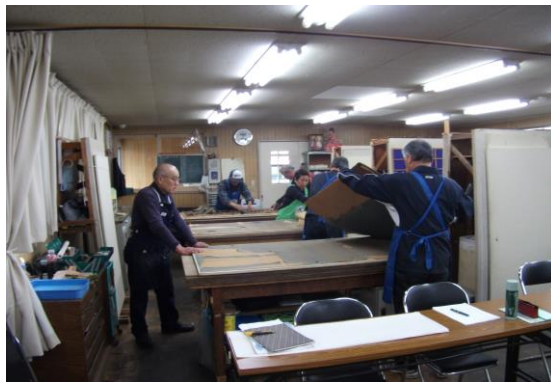
そして、3月から「見習い」がスタートしました。道具も順次揃えしました。作業を終えた襖、障子、網戸を届けにお客様宅を訪問すると「きれいになった」「明るくなった」「ありがとう」「早かったね」など、お客様の一言で疲れが回復するように感じました。そして、いつまでも先輩方の手をとめないで一つずつ確実に覚えていきたいと思えました。

ある日、新聞記事に「失敗」と書いて「経験」と読むとあり、救われました。それからは前向きな気持ちになり、必要以上に落ち込むこともなくなり、「新しいことに挑戦するのは何歳でも遅くない」とも思えるようになりました。

半年が経過した今、2月に受講した男性2名、女性1名とも作業に励んでいます。

3名の先輩に感謝。

シルバー人材センター会員の皆様、ご自宅に少し疲れた襖や障子、網戸がありましたらセンター事務局まで張替えをご依頼ください。私たちが真心を込めてきれいに張替えてお届けします。



襖張り講習会

シルバーになってもまた学ぶ

西2班 伊堂寺 廣子

一橋大学の試みで始まった、障害学生さんへの支援の板書モニターの話を聞いたのが2年半前です。

支援担当の先生方とシルバー会員4人の支援モニターで、生徒さんへの支援がスタート。慣れないパソコンと遠隔カメラをかごに入れ、受講教室へ行き、パソコンと遠隔カメラを設置して先生を待ちます。操作に苦労して、何度か担当の先生に助けて頂きました。時期の後半にはビデオカメラに変わり楽になりました。延長コードの長さから、教室の一番前の席に陣取って、90分間の大学生気分になります。現役の学生さんと講師の方と同じ教室、同じ時間を共有します。

シルバーになってから90分間の大学生？（実は仕事なのですが）になるなど考えてもみませんでしたので、興味いっぱいでした。配付されたレジュメを生徒さん用と私用に頂いて講義を拝聴しました。資料が多い科目は説明の肉づけを追いかけるのに苦労しますが、録音されていきますので私用の資料のみが書き込みです。

レジュメがない科目はひたすら板書です。黒板の全面を使い上下左右へ書き並べ、つながりを示すことが難しかったり、書き終わらないうちに消さ

れてしまい、後で聞いて書いてみたり、英語科目でないのに説明書きが英字で達筆でわからず、授業後に聞いたり、黒板の隅で席から遠くに見えなくて、オペラグラスで拡大して書いたり、2年半で10科目の授業に参加しました。良い体験でした。ある科目で、生徒さんの自己紹介を聞く機会があり、名のある高校出身の生徒さん達、さすが一橋大学と感嘆しました。どの先生も生徒さんの質問に親身に対応、アドバイスしているのが印象的でした。



支援担当の方たちとの懇談会

入会者・退会者状況(8月12日現在)

(単位:名)

地域名	入会数	退会数	在籍数	地域名	入会数	退会数	在籍数
北 1 班	2	1	40	中 1 班	0	2	24
北 2 班	3	0	24	西 1 班	1	1	16
東 1 班	0	1	18	西 2 班	0	1	30
東 2 班	0	1	19	谷保 1 班	1	3	60
富士見台 1 班	1	6	50	谷保 2 班	0	0	37
富士見台 2 班	1	2	26	泉 1 班	0	0	32
富士見台 3 班	1	1	32	青柳・石田 1 班	0	0	22
富士見台 4 班	1	9	61	合 計	11	28	491

11月4日(月)市民まつり
《出店品募集》

くにたち秋の市民まつりで販売する『手作り作品』を募集します。ブローチ、巾着、ネックレス、根付け、アクリルタワシ、小さな鉢植え等、会員の皆さんが値段をつけて持ち寄った品を預かり販売します。(売れ残った品は返品となります。)

趣味で作っている小物等がありましたら10月18日(金)までに事務局にご持参ください。

なお、鉢植えの販売をご希望の方は、事前に事務局へご連絡ください。

☎ 577・0919

平成25年7・8月
理事会協議案件

- ④ 職員就業規則の一部改正
- ③ 役職員の職務及び権限に関する規程の一部改正
- ② 事務規程の一部改正
- ① 入会希望者・退会者の承認
- ② 会費の免除について
- 【第4回理事会：7月12日(金)】
- ① 入会希望者・退会者の承認
- ② 会費の免除について
- 【第5回理事会：8月13日(火)】
- ① 入会希望者・退会者の承認
- ② 事務規程の一部改正
- ③ 役職員の職務及び権限に関する規程の一部改正
- ④ 職員就業規則の一部改正

まちなか見守り
ボランティアにご協力を

市道の損傷や陥没、街路樹の倒壊、街路灯の球切れ、カーブミラーの向きが悪い、支柱が曲がっている、防護柵の破損など、公共施設の一部破損により、思わぬ事故につながる可能性があります。そこで、会員の皆様が行き帰りに公共設備の一部破損等を見つけたら、事務局にご一報ください。

☎ 577・0919

新規会員を
募集しています

入会説明会は毎月第3木曜日、以下のとおり実施しています。

- 日時 9月19日(木) 午前10時
- 10月17日(木) 午前10時
- 11月21日(木) 午前10時

○場所 くにたち福社会館 3階会議室

- 必要なもの
- ・年会費 2,000円
- ・印鑑(認め印)
- ・ゆうちょ銀行の通帳
- ・本人が確認できる証明書(保険証等)

※ 入会には理事会の承認が必要です。

会員の声募集

会員の皆様の声を『いぶし銀』で発表しませんか。日々の感想、ひと言、また、地域班や職群班の活動内容など、何でも結構です。

随筆・旅行記などは600字程度、俳句・短歌・川柳などは3点まで、写真は1点で、データでお願いします。

なお、いただいた原稿などは掲載記事の量によっては、次号以降の掲載になることもありますが、あらかじめご了承ください。

- ※ 11月15日号の締切日は、10月4日(金)です。
- ※ 詳細はセンター事務局へ

☎ 577・0919

